

1 社会科を学ぶねらい

地理…地図や資料等、さまざまな資料を参考にして、日本や世界の諸地域の特色を理解し、判断力や思考力を養う。

歴史…歴史上の用語・年代・人物などの知識をもとに、歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し、学ぶことで現在の社会を考察し、未来を築く力を身に付ける。

2 学習方法

地理…教科書、資料集、ワークシート等を利用し、グラフや地図を読み取ることにより、知識を広げるだけでなく、考える力、判断する力を伸ばすことができます。日々の予習や復習、そしてテスト前には復習してテストに臨みましょう。

歴史…歴史の学習で大切なことは、時代の流れをつかむことです。その際には、歴史の重要語句に注目するとよいでしょう。家庭では予習や復習、学習内容を教科書で確認して定着させましょう。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

【地理】教科書、ノート、地図帳、ファイル(プリントをとじる)、その他指定されたもの

【歴史】教科書、ノート(プリントなどもはる)、資料集、その他指定されたもの

4 学習の評価内容と評価方法

①「知識・技能」

課題を追究したり解決したりする活動を通して、基本的な内容を理解している。

【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシート等】

②「思考・判断・表現」

時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して歴史上の人物や文化財、出来事などから、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。

【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシート等】

③「主体的に学習に取り組む態度」

歴史の学習活動を通して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。あきらめず粘り強く学習課題に取り組んでいる。

【授業での学習活動、小テスト、問題集、ワークシート等】

5 先生からのアドバイス

日々の授業を大切に受けましょう。社会科は他の教科と比べて多くの知識を必要とする科目です。しかし、丸暗記すればよいというものでもなく、一つ一つのことがらの背後にある社会的な原理・原則を理解すること、大きな流れを理解した上で、重要な知識を身に付けることが大切です。

また、与えられた資料からものごとを判断する力を養うことも重要です。統計や資料・地図などの資料からさまざまなことがらを考える力がつけることが求められてきます。

6 社会科 2 年(地理的分野、歴史的分野) 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法		
1	4 5 6 7	[地理的分野] 世界と比べた日本の 地域的特色 日本の諸地域 九州	<p>・日本の諸地域について、各地方に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとに主題を設けて、それぞれの地方の地域的特色を理解する。</p> <p>身近な地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究する。</p>	<p>授業での学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物 ・課題学習 		
2	9 10 11 12	中国・四国 近畿 中部 関東				
3	1 2 3	東北 北海道 ↓ 身近な地域の調査				
1	45	[歴史的分野] 中世の日本と世界			<p>・室町幕府から戦国時代、農村や都市の自治的なしくみ、文化などを理解する。</p> <p>・江戸幕府の政治のしくみや人々の生活・文化について理解する。</p> <p>・17世紀から19世紀にかけての世界の動きとともに江戸時代から明治時代に至る過程を理解する。</p> <p>・明治時代の日本の近代化と、そのことによる日本と世界との関わりや国民生活の変化について理解する。</p>	
2	6 7 8 9	近世の日本と世界				
3	10 11 12 1 2 3	近代の幕開け 近代の日本と世界				